

資料

議会の構成	・ ・ ・ ・ ・ 5 0
議員定数に対する意見（平成28年8月現在）	・ ・ ・ ・ ・ 5 1
議員報酬に対する意見（平成28年8月現在）	・ ・ ・ ・ ・ 5 3
平成28年度 議会との意見交換会 チラシ	・ ・ ・ ・ ・ 5 5
平成28年度 議会との意見交換会 アンケート結果	・ ・ ・ ・ ・ 5 6
平成28年度 議会との意見交換会 速報版チラシ	・ ・ ・ ・ ・ 6 3
平成28年度 議会との意見交換会 報告書	・ ・ ・ ・ ・ 6 4
議会報告会実施報告書	・ ・ ・ ・ ・ 6 7
議員定数及び議員報酬に関する検討について（中間報告）	・ ・ ・ ・ ・ 9 0
議長諮問の引き継ぎについて	・ ・ ・ ・ ・ 1 0 0
議会に関するアンケート調査票	・ ・ ・ ・ ・ 1 0 1
議会に関するアンケート調査の回答状況	・ ・ ・ ・ ・ 1 0 9
議会に関するアンケート調査報告書《概要版》	・ ・ ・ ・ ・ 1 1 0
平成29年度 議会報告会 チラシ	・ ・ ・ ・ ・ 1 1 8
愛知県市町村議員定数推移	・ ・ ・ ・ ・ 1 1 9
町議会への関心の有無からみた回答の傾向	・ ・ ・ ・ ・ 1 2 2
議員定数に対する考え方（平成29年12月8日現在）	・ ・ ・ ・ ・ 1 2 6
議員報酬に対する考え方（平成29年12月8日現在）	・ ・ ・ ・ ・ 1 2 8
議会報告会開催結果報告書	・ ・ ・ ・ ・ 1 3 0
平成29年度 議会報告会 アンケート結果	・ ・ ・ ・ ・ 1 4 7

議会の構成

(平成28年5月11日現在)

議 長	丹羽 勉	副議長	丹羽 孝	
常任委員会	総務建設常任委員会	◎伊藤 浩 酒井正宗 宮田和美	○鈴木義彦 齊木一三 倉知敏美	吉田 正 丹羽 孝
	文教福祉常任委員会	◎大島保憲 岡 孝夫 木野春徳	○大竹伸一 柘植 満	船戸光夫 丹羽 勉
	議会広報常任委員会	◎岡 孝夫 鈴木義彦	○酒井正宗 伊藤 浩	吉田 正 丹羽 孝
議会運営委員会		◎齊木一三 岡 孝夫 丹羽 孝	○大島保憲 伊藤 浩 倉知敏美	吉田 正 柘植 満

◎ 委員長 ○ 副委員長

(平成29年10月27日現在)

議 長	宮田和美	副議長	伊藤 浩	
常任委員会	総務建設常任委員会	◎齊木一三 江口昌史 丹羽 勉	○大竹伸一 丹羽 孝 倉知敏美	船戸光夫 宮田和美
	文教福祉常任委員会	◎岡 孝夫 酒井正宗 木野春徳	○鈴木義彦 柘植 満	吉田 正 伊藤 浩
	議会広報常任委員会	◎酒井正宗 鈴木義彦	○船戸光夫 大竹伸一	岡 孝夫 丹羽 孝
議会運営委員会		◎丹羽 孝 岡 孝夫 木野春徳	○柘植 満 齊木一三 倉知敏美	吉田 正 伊藤 浩

◎ 委員長 ○ 副委員長

議会報告会プロジェクト	◎伊藤 浩 船戸光夫 柘植 満	○丹羽 孝 鈴木義彦	吉田 正 大竹伸一
-------------	-----------------------	---------------	--------------

◎ リーダー ○ サブリーダー

議員定数に対する意見

大町議会
 *意見種別欄の右側数字は、人数。 *意見及び考え方の破線は、1議員の区切り。 平成28年8月現在

意見種別	意見及び考え方
現状維持	各委員会、一部事務組合、協議会等を考えれば現状の15で良い。2減らす意見も聞かぬが現実とすれば負担増は避けられない。
2	定数は法定数から法定上限数に改正され、今日その法定上限数も撤廃された。自治体は独自の基準に即して条例で定めることになり、その定数に説明責任が求められる。発展途上の新人議員は特に負担が重くなる。
定数14人	ア～オにある内容から考えて、現在の定数は多いとは考えていない。
3	定数は、偶数が最善。議長が抜けるので、採決が分かれずスムーズに議会運営がなされる。今の議員の仕事量を考え14人が最善。 町内のそれぞれの地域の代表という意味があり、行政区毎の割り振りが第一と考える。秋田1、豊田1、外坪1、河北1、余野2、垣田1、さつきヶ丘1、上小口1、中小口1、下小口2の以上13に、竹田地区が将来的に行政区としての資格を持っていると考えると考え14が適正。現状の委員会構成が総務建設8、文教福祉7であるが、7対7でも委員会構成上問題はないと考える。 町民の方々の想い、近隣市町の状況からみても、1議員への負担は微増と見え、1減の14議席で可と考える。 H9議員数18名で1議員の人口は1,070人、H19議員数15名で1,439人、H28議員数15名で1,564人。
定数13人	各常任委員会です十分な議員間討議をするには、12人から13人の議員が必要。1常任委員会でも最低6人が必要。明確な根拠となる基準がないので、住民意見を参考に議会で話し合い、決めるべき。13人がよい。
5	常任委員会主義の継続を前提。(6名×2常任委員会+議長) 本会議主義とするなら更なる改定も。議長は両常任委員会に所属。有意義な議論ができるといわれる6人を基本に立案(プレジデント誌調査で1位は4~6名48.9%、2位は7~10名36.5%)。委員長をキーパーソンとして、両サイドに3名ずつの構成が効率的と言われる。定数の変更は、3自治組織の住民意見の広聴による活動を反映するため意見交換会を定例化し、その議論に従い検討する。
定数問題と報酬改定と別の論議で検討すべき(住民への説明責任)	町内には11行政区あり各地区代表者1人で11人になる。人口の多い余野区、下小口区で1人ずつ追加し、合計13人の定数とし2人削減。
15名を13名に削減。何年も前から町内外で問題化されており、町内でも耳にしている。県内自治体を参考にしても、議員定数は減らすべき。この件は、議員提出議案にしたいという意見も出ていたように思う。	
議会は合議体であるから最低3人以上の構成員(議長及び議員2人)が必要である。常任委員会数方式を採用する。明治大学政治経済学部講師、全国市議会議長会調査広報部参事である広瀬和彦氏によると、討議・委員会での住民の意見が反映できる1常任委員会の委員数×常任委員会制度の趣旨を満たす常任委員会数+議長、1常任委員会の委員数は、県議会は8名、市議会は7名、町村議会は6名が妥当。よって大町議会は、6人×2常任委員会+1人=13名とする。	
増やすべき	
0	

意見及び考察の方

意見種別	
その他	<p>議案を可決するための最低数は3人。</p> <p>5 議員の仕事は、町全体の住民の声を行政に届け、その実現に向け頑張ることで、このためには議員は多いほうがより多くの住民の声を届けることができるので、財政が支えることができる人数が定数である。</p> <p>定数は偶数とし、議会運営上14人は必要。</p> <p>議会組織の運営上、議員は委員会の複数所属となっており、2常任委員会も1委員会7人～8人必要ではないか。</p> <p>会議、議決案件の可否を決めるときは「半数より多い数で決める」過半数議決の原則が用いられており、議長には表決権はなく、裁決権が与えられており、可否同数の場合の裁決権の行使に当たっては、公正中立である議長に責任を負わせる事態があってはならないことから、議員定数は偶数で定めることが望ましい。</p> <p>明確な考えなし。情報収集段階のため、様々な情報を全議員で共有することから始めるべき。</p> <p>議員定数に理論的な正解はありません。議員が多すぎるといふ批判や不満の背景には、この議員に対する不満や議会活動が見えにくいという住民感情が潜んでいます。議会への不満を短絡的に議員定数削減に結び付けても、問題の本質的な解決にはなりません。議会への不満の背景を分析し、それを解消するための選挙制度や情報公開のあり方に知恵を絞る必要があるでしょう。個人的には定数に問題があるのではなく、選挙への立候補者数が激減している状況が本質的に問題だと思っています。当選する政治家の質が向上して、有権者にも議会の存在意義を感じてもらえれば定数削減という話にはならないでしょう。</p> <p>1票の格差はともかく地方区10～11名、全国区2～3名の13名が現在の大口町の最低議員数と考える。</p> <p>投票率の低下傾向が続き、無投票当選の割合も増大している。我が大口町議会議員選挙においても立候補者数は定数より1名多いだけで最初から結果は見えていたと言っても良い。これらの推移を鑑みるに、議会に対する住民の関心の低下に伴う議員のなり手不足が現実化するのではないか。自分を省みずに言えば質の低下もあるのではないか、そんな危惧も考えられる。議会及び議員に対する住民の理解や信頼の確保に真剣に鋭意努力していかねければならない。その努力の過程において、定数は当然削減という命題が出てくるが、委員会の数、その定数、或いはほとんどの議員が地元の支援で出てきている地域密着型である町議会の性質など諸条件を考えれば一概に現状から減らせれば良いとも考えにくい。世の趨勢に流されたとしてもせいぜい2名の削減が限界と思う。</p> <p>近隣市町の人口規模と比較し、住民からも指摘されているように削減する方向で検討すべき。</p> <p>削減数については、地域の代表としての役割などを考慮し、行政区の数や規模、他党派などの意見も十分考慮するとともに、住民の意見も十分に聴取し検討しなければならぬ。</p>

議員報酬に対する意見

大口町議会

* 意見種別欄の右側数字は、人数。 * 意見及び考え方の破線は、1議員の区切り。平成28年8月現在

意見種別	意見及び考え方
7 現状維持	<p>世帯構成によって必要な報酬額が違おうと思うが、従前の仕事との両立を保障することができれば、報酬を引き上げなくても生計的な問題は解決できる。扶養手当の支給論に対しては、議員は平等の原則に反するので反対。議員は労働者ではない。</p> <p>値上げは住民の理解を得るのが大変難しい。</p> <p>平成27年5月に減額改正したものであり、当面はこのままでよい。</p> <p>現行の基準（町長の3分の1）の根拠を町民に具体的な数値による説明が必要。（町村議会議長会基準による報酬決定の根拠づけ）</p> <p>政務活動費（研修費＋活動費）の増額、費用弁償を再考することも必要。</p> <p>議員の役割を明確にするために自治法の公選職の規定を盛り込み、時代に合った議員活動の明確化、報酬の見直しをしていく活動が必要。</p> <p>他市町の意見交換会をみても現状では報酬アップは町民の理解は得られないと考える。</p> <p>住民意見の多様化に伴い、議員職務が常勤化している現状を反映させる。早急には難しいと思うが時代在即した自治法の改定を国に要求し、多様化している議員の役割を明確にし、報酬の改定に結び付ける。</p> <p>社会情勢と少子高齢化に伴い、財源の入出とのバランスもあり、現状のままとする。</p> <p>政務活動費を現状の6万円から2万円上積み（およそ13.3%UP）とする案を提言する。</p> <p>現状では子育て世代の議員は生活が成り立たないため難しいが、全国的な考え方で妥当と考えると考えられない。町民に理解される議員活動がされたいと思うので、議員全体が個人の議員活動を含めスキルアップに努める必要がある。政務調査は自払いが多くなるので、増やしてしっかりと研修や視察ができるようにすべきである。</p> <p>現状維持としたい。不交付団体でもあるし、財政力指数から見ても現状が的確と思う。</p>
6 上げるべき	<p>現在の報酬額の決め方は、時間給や日当制、また成果報酬支払になじまず、明確な基準がないため、昭和53年の全国町村議会議長会の「議員報酬の適正化に関する申し合わせ」により議員は町長の約30%と決めているが、議員報酬は生活給ではないと言われつつも、現実は議員活動の他に生活給的な意味合いを持っており、生活が成り立つ適切な報酬額が保障されることにより、多様な人々が議員を目指すことができるのではないかと感じ、現状では満足でなく、増額することが必要ではないか。</p> <p>若い人が議員になるには低すぎる報酬。近隣市の議員報酬ぐらいいにはすべき。個人的には現状の報酬でOK。</p> <p>若い世代・子育て世代にとっては、安過ぎる感があるのでは？市並みに報酬を引き上げれば、若手を含め優秀な人材の立候補が期待できないか？議会が住民の代表機関である以上、性別、年齢、職業等で多様な議員の参加が強く望まれる。しかし現状は議員の高齢化は年々進行し、女性や若い世代における議員のなり手不足は顕著である。「地方分権」の時代を迎えた今、女性や若い世代の定住を進め、女性や若い世代がその地域で活躍できる環境整備が不可欠であるが、そのためにも女性や若い世代が議員となり、町民とともに活躍できる制度設計が必要ではないか。</p> <p>近隣含め市会議員は30歳代等の若手議員もいるが、町村議員にあっては少ないと思う。近隣との比較で20万円近く差があることが要因では？議員報酬が高いという声を聞くが、昇給や失業保険、退職金がないのは事実だし、4年に1度の選挙にも費用がかかると感じる。</p>

意見種別	意見及び考察の方
	<p>議員報酬が高いという声は、「就業時間（議会・議員活動）が短い割にたくさんもらっていると受け止めて良いのでは？議員の言い分として、役場内での議会活動以外にも公務性のある議員活動も多々あるが住民に理解されていない節もある。平成27年11月、熊本県の御船町議会改革推進特別委員会が、地方分権時代における議員報酬のあり方についての中間報告をまとめているので、議員間で情報共有してはどうか。</p> <p>最低限安定した生活給を保証できるよう、せめて市議会議員に近い報酬に引き上げを検討すべきと考え。現状を住民に十分説明し、理解してもらい、広く有望な人材が議員として幅広く活躍できる議会を目指すことが議会改革にも繋がっていくと考える。</p> <p>現在の報酬は町村の中では高いほうではあり、町長の給料を基準に決められているが、市町村長の給料はほぼ格差もないように思う。そうした中で町村議員報酬は、市議会議員の報酬とはかなりの格差があるが、議員としての活動や責務については違いはなく同じであると考え。議員年金制度も廃止され、退職金制度もなく、年金の一元化により年金が大幅に減額され、さらに町村議員を目指す若年層は四年毎の選挙や経済的な理由から議員とされる人材に限られてしまっている現状がある。</p> <p>最低限現状維持か、アップを望む。市と比較して町村は報酬が低い。将来議員を目指す方のためにも最低限現状維持を望む。</p> <p>議員は誰でもなれる（学歴不問、満25歳以上の日本国民、3か月以上の住民登録）。子育て世代が専属議員で生計が成り立つことが不可欠。年金受給者、サラリーマン（副業）限定にしてはいけない。報酬が上げられないなら、政務活動費の増額を望む。</p> <p>現行報酬の2割増額。定数を2人削減することにより、歳出が約1千万円削減できるので、これを原資に13人で割り戻すと約15%増となり、この際報酬を見直す観点から2割増とする。</p>
<p>下げるべき 0 その他 2</p>	<p>国の制度を待つのではなく、町の条例で対応すべきと考え。</p> <p>地方議員の報酬は国会議員を参考にされたが、歳費の名称は年棒といった性格、色彩を強く帯びるので採用しなかったと聞く。よって地方議員には国会議員同様、基本給と期末手当のみである。しかし、実態は地方議員が所属する地方自治体の首長の基本給だけを基準にしている。まったくもって不可解極まりない。首長を基準にするのなら、首長に適用している基本給、通勤手当、退職手当、退職手当（短期、長期）を適用することによって、若い議員の出現が期待できる。</p> <p>現状の一人当たりの負担率を変えることなく生活が確保できる報酬という条件を満たさそうと思えば、基本的報酬を抑え、諸手当的報酬を確保すればよいと考え。</p> <p>住民一人当たりの議員報酬負担率は、市に比べ町村のほうが高いと思うが、だからといって現状で良いとは思えない。何故なら、現状では子育て中の優秀な人材の確保或いは多様な人材の確保が極めて困難であるからである。それは取りも直さず町や住民の損失でもある。従って、サラリーマンを辞めても生活できる水準が必要と思うが、当然それは議員ごとに異なっている。</p> <p>住民との幅広い意見交換、アンケートの実施、議会意見の周知或いは個々の考え方の聴取など相当の困難と努力と時間を経て、結論を出さなければならぬ。</p>

議会との 意見交換会

11/12 土

ご都合のよい会場へ
お越しください。

午後6時～7時30分

下小口学共



伊藤 浩



倉知敏美



柘植 満



岡 孝夫



船戸光夫



宮田和美



鈴木義彦

内容

議員の
定数と報酬

木野春徳

吉田 正

大島保憲

齊木一三



堀尾跡公園

五条川

秋葉橋

八剱社

豊田学共

午後2時～3時30分

豊田学共



大竹伸一



酒井正宗



丹羽 孝

皆さまの
声をお聞かせ
ください。



丹羽 勉

主催/大口町議会 TEL 95-1702 (直通)

【議会との意見交換会 アンケート結果】

平成28年11月12日(土)
 14:00～15:08 豊田学習等共同利用施設
 参加者 10人(男 9人・女 1人)
 18:00～19:25 下小口学習等共同利用施設
 参加者 16人(男 15人・女 1人)

アンケート回答者 18人(男 16人・女 1人・未回答 1人)

問① 性別・問② 年齢・問③ 地域

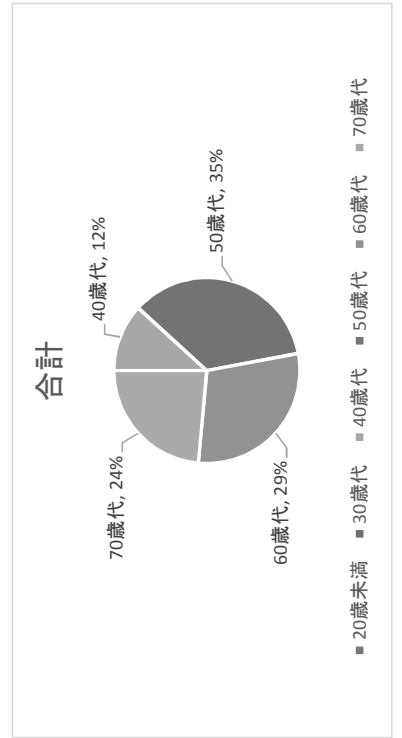
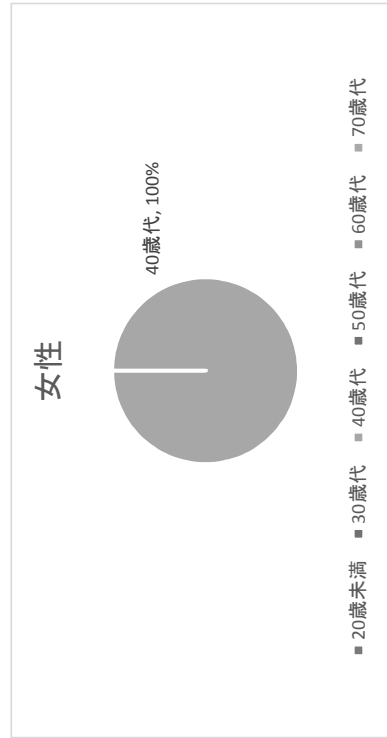
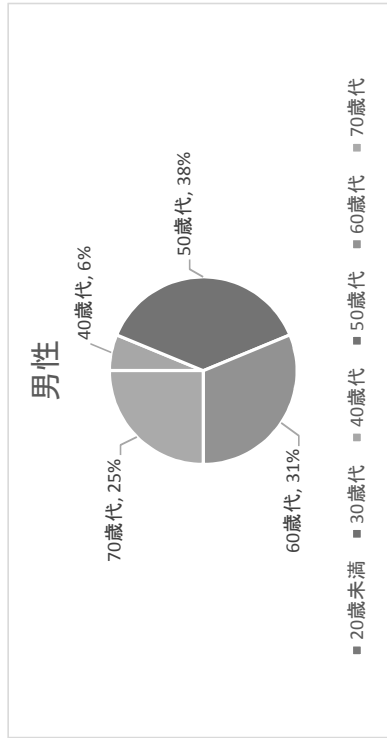
	20歳未満	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	計
秋田	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
豊田	0人	0人	0人	0人	2人	0人	2人
大屋敷	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
外坪	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
河北	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
余野	0人	0人	0人	1人	1人	1人	3人
上小口	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
中小口	0人	0人	1人	1人	0人	0人	1人
下小口	0人	0人	1人	2人	2人	3人	8人
埴田	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
さつきヶ丘	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
町外	0人	0人	0人	2人	0人	0人	2人
男性計	0人	0人	1人	6人	5人	4人	16人

	20歳未満	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	計
秋田	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
豊田	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
大屋敷	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
外坪	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
河北	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
余野	0人	0人	1人	0人	0人	0人	1人
上小口	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
中小口	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
下小口	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
埴田	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
さつきヶ丘	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
町外	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
女性計	0人	0人	1人	0人	0人	0人	1人

	20歳未満	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	合計
合計	0人	0人	2人	6人	5人	4人	17人

未回答
1人

*グラフ…未回答1人除く。

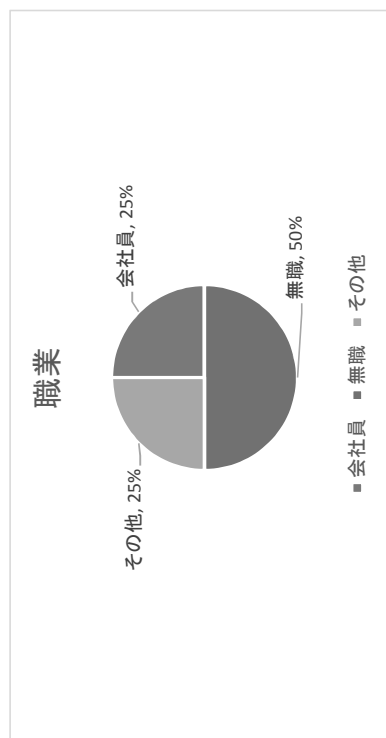


【議会との意見交換会 アンケート結果】

問④ 職業

	会社員	無職	その他	合計
男性	4人	8人	4人	16人
女性	0人	0人	1人	1人
合計	4人	8人	4人	17人
				未回答 1人

*グラフ…未回答1人除く。



問⑤ 何で知ったか(複数回答)

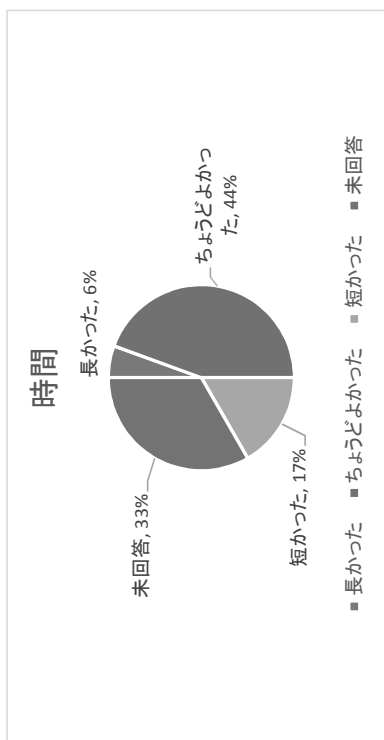
項目	回答数
議会だより	4
広報おおぐち	3
町ホームページ	1
チラシ	2
議員・知人の紹介	3
議会だより、広報おおぐち	1
議会だより、町ホームページ、チラシ	1
議会だより、広報おおぐち、チラシ	1
その他	1
	未回答 1人

問⑥ 参加しやすい開催日時(複数回答)

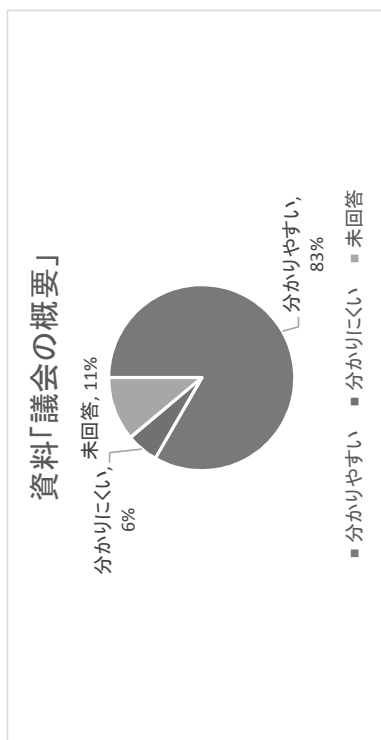
項目	回答数
2 平日の午後	2
3 平日の夜	1
4 土日・祝日の午前	2
5 土日・祝日の午後	4
6 土日・祝日の夜	3
8 平日の夜、土日祝の夜	2
9 平日の夜、土日祝の午後、土日祝の夜	1
10 土日祝の午前、土日祝の午後	1
7 その他	1
	未回答 1人

【議会との意見交換会 アンケート結果】

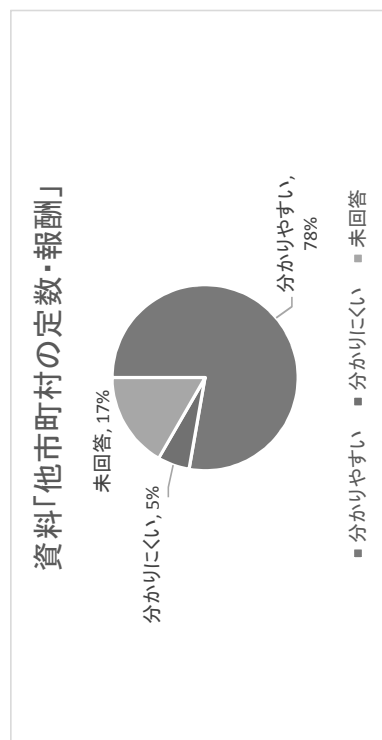
問① 時間	項目	回答数
問① 時間	長かった	1人
	ちょうどよかった	8人
	短かった	3人
	未回答	6人
	合計	18人



問③ 資料「議会の概要」	項目	回答数
問③ 資料「議会の概要」	分かりやすい	15人
	分かりにくい	1人
	未回答	2人
	合計	18人



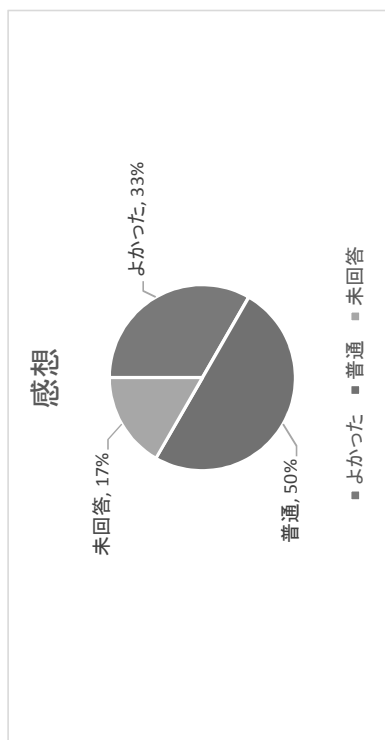
問④ 資料「他市町村の定数・報酬」	項目	回答数
問④ 資料「他市町村の定数・報酬」	分かりやすい	14人
	分かりにくい	1人
	未回答	3人
	合計	18人



【議会との意見交換会 アンケート結果】

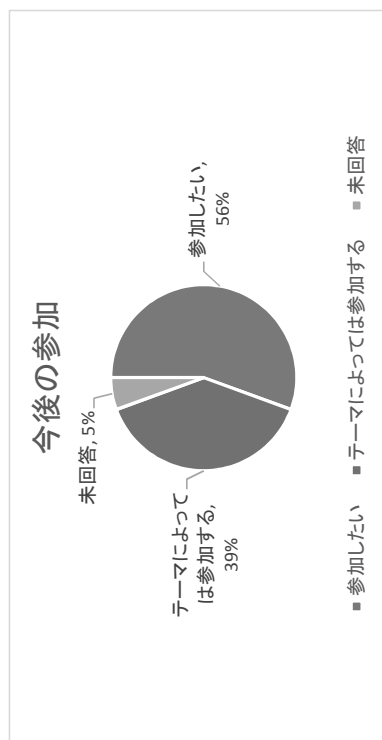
問⑨ 感想

項目	回答数
よかった	6人
普通	9人
未回答	3人
合計	18人



問⑩ 今後の参加

項目	回答数
参加したい	10人
テーマによっては参加する	7人
未回答	1人
合計	18人



- ・ポイントを決めて、深く討論が必要では。
- ・議員定数について
 - ・仕事量
 - ・減としたとき、現在の仕事ができるか？
 - ・増としたとき、何を仕事として新しくできるか？
 - ・住民からは少ない方がいいと思う。・・・一般的
- ・議員報酬
 - ・住民としては、税金を使っているので、少ない方がいいという意見が多いと思う。
 - ・議員の報酬が多い、少ないとは、簡単には言えない。・・・私意見
- ・その他及び総論
 - ・議員定数、報酬には、簡単には答えることは一住民としてできない。
 - ・一般参加者が少ないと感じた。・・・住民に関心が無い。
 - ・建設予定の広域ごみ処理施設について、今後の江南丹羽環境管理組合施設は。
 - ・年々、あるいは環境の変遷により、町内、町外も含め、懸案の事柄は増加し、多岐（多様）にわたってきている。より力を合わせていただき、未来志向で一層の尽力をお願いしたい。

- 今日、町職員も出席して、区会からの要望事項、道路計画の遅延（桃花台線、下小口から南進）、小口岩倉線（ヤマザキマザック前から江南市前野まで）などが質問できると思っていた。
- 若手議員の具体的イメージ。
- 定数や報酬の根拠が分かってよかった。定数・報酬の多少は、ものさしとなるものにより変わってくるのだろう。意見や考えを交換し、お互いの考えを知る、聞くということが、民主主義の根幹と思う。すぐに結論が出なくても（人の生き死にの問題ではないので、じっくり）議論することが大切と思った。（私は、報酬は生活保護費並み月額、政務活動費を大幅増額し活動を保障）
- 豊田学共の交換会では、南の地域の雰囲気が端的に表れていると感じた。その地域の人たちが考えればよい問題と思うが、人生は一度しかないと改めて感じた。
- 公約について、立候補時と状況が違うからと、公約と真逆の行動をとられる議員が在籍していると聞く。議員にとって公約とは何なのだろうか。公約が簡単に反故にされるのでは、主催者はたまったものではない。
- 議会活動の報告の時間を設けてほしい。（本会議、委員会、視察、組合議会等の報告）
- 足が不自由な方もいると思うので、各学共、集会場に加え、健康文化センターで開催してほしい。
- 議会の傍聴をしたことがない。仕事を休んでまで行こうという気持ちになかなかないが、関心はその程度なのだろう。しかし、議会もまちづくりと地域づくりの一つのツールだから、町をより住みやすくしたいなら、考えを改めなければいけない。

- 住民の皆さんが、議会・議員について多くを知らない。
- 意見交換ができる、大口市の現状について、1つでも多くの現状を情報提供し、テーマにつなげていく工夫が必要。
- 豊山町は10人でやっているのです、10人でもできるのではないか。できるか、できないかは、一般人では分からない。議員の中でよく協議をしてほしい。10人で足りないというのであれば、具体的にどのように違うのか明示すべきである。

(アンケート記入者から、返答の求めあり)

- 議員の定数と報酬について、

- ① 議員の定数 11名
- ② 議員の報酬 3割カット
- ③ 政務活動費廃止
- ④ 町長もグリーン車廃止

なお、報酬292,000円にふさわしい仕事をしている議員あらば、教えてください。

- 政務活動費について、変更前 各党派に対する政務活動費の交付金額及び個々の領収証の公開を求めます。
- 丹羽消防署における勤務時間中の卓球事件について、署長も次長も、勤務時間中、卓球に参加していた、若い頃から平気で勤務中にやっけていましたよとの情報があります。この事件は、再度調査し、勤務規定、準則に基づき、厳罰にしてください。署長、次長は、責任をとり、退職すべきが相当と考えます。この件に関し、大口広報は、透明性のある情報発信を、事実に基づき、スペースを広くとり、町民に報告すべきです。身内の失敗、事件等は書かないという伝統は許されません。なお、図書館に関する件、マイナンバーのセキュリティの問題は、スペースがないので止めます。上記について、大口町議会事務局の返答を求めます。

[速報版] 意見交換会

詳細は議会だより次月号(1月発行)でお知らせします

大口町議会は11月12日(土)、豊田学共と下小口学共で「意見交換会」を開催し、議員の定数や報酬について意見交換を行いました。(参加者 豊田学共10人・下小口学共16人)



議員はボランティア
でどうか

報酬に見合った以上の
仕事を!

～みなさんから出された声～

《議員の定数・報酬》

- 町内の有識者が入る第三者機関に議会の考えを提出し、答申を出してもらっては？
- 常勤にして、報酬を上げては？
- 近隣比較ではなく、大口町独自で決めればよい。
- 報酬を半分にして定数を30人にするか、逆に、定数を減らして報酬を上げてはどうか？
- 報酬を、50代、60代、65歳以上といった3段階に分けたらどうか？
- 引き下げるべきということだけでなく、その収入に見合った以上の仕事をしてがんばってほしい。
- 報酬は下がってきて現在の額なのか。29万2000円がずっときているのか。

ご出席ありがとうございました。みなさんからいただいた声は、議会で調査・検討し、対応していきます。

報 告 書

会 議 名	議会との意見交換会
開 催 場 所	豊田学習等共同利用施設
日 時	平成28年11月12日(土) 14:00~15:08
参 加 人 数	10人(男9人・女1人)
出 席 議 員	吉田 正 酒井正宗 大竹伸一 斉木一三 丹羽 孝 丹羽 勉 木野春徳
<p>【主な意見、提言、対応等】</p> <p>①定数、報酬等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報酬は下がって現在の金額なのか？前から292,000円できているのか？ ・定数は11人が妥当と思う。政務調査費はカットすべき。 ・議員はボランティアでやるべき。3割カットが妥当。 ・政務活動費は以前に遡り、調査せよ。 ・議員の報酬は長の30%だが、その根拠は？ ・交通費、政務活動費、年収はいくらになるのか？ ・年収は500万円前後とのことだが、年間活動日数は何日位か？ ・91日働いて450万円は高いのではないか？ ・引き下げるべきということではなく、収入に見合った以上の仕事をして欲しい。 <p>②その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丹羽消防署の卓球問題は真相を解明すべき。町の広報に取り上げていないが。 ・救急車は、もう少し整備して欲しい。 ・町長が代わると、部や課の名前が変わる。電話をすると交換手が担当課に繋ぐのが遅い。 	

報 告 書

No.1

会 議 名	議会との意見交換会
開 催 場 所	下小口学習等共同利用施設
日 時	平成28年11月12日(土) 18:00~19:25
参 加 人 数	16 人 (男 15 人 ・ 女 1 人)
出 席 議 員	船戸光夫 岡孝夫 鈴木義彦 伊藤浩 柘植満 宮田和美 丹羽勉 倉知敏美

【主な意見、提言、対応等】

①定数、報酬等

- ・今日のテーマは、議会との意見交換会にふさわしいものか？
- ・議長が議運にこのような諮問をするのはいかがなものか？諮問書はあるのか？
- ・議長が議員（仲間内）に諮問して、議員が議長に答申書を出すことは良いのか？
- ・第三者、識者に議会の思いを伝え、審議の上、答申書を出してもらうやり方でないとおかしい。
- ・不特定多数の住民意見を参考にして、議会で決めるのは無責任である。
- ・近隣で最少は10人。40万円出しても良い。議員は年配ばかり、若い人がチャレンジできる報酬を。議会をスリムな体制とし、若い人も入って議員の報酬は上げ、一方で総報酬は下げるのはどうか。
- ・議員の仕事は地元のことでなく、町全体のことを考えるべき。
- ・議員は非常勤であり、給料を上げることは理解を得られないし、委員会を兼任すれば人は減らせるのでは？仕事量は増えるが、対応可能であれば、減らす。
- ・「報酬を上げて若い人を」。耳ざわりは良いが、現役時代に活躍され、知識・経験・豊富な方が議員でも良いと思うし、報酬の妥当性は分からないので議会と識者で英断されたらどうか？
- ・報酬を上げれば立候補者は増えるのか？魅力ある議員とはなんなのか？近隣比較ではなく、大口町独自で決めれば良い。
- ・定数を30人で報酬を半分にして、日当制で土日の夜に議会を開き、ボランティアとして改革する、又は10人以下としてもう少し高給とする。判断は外部の諮問機関を作ってやるべき。

報 告 書

No.2

会 議 名	議会との意見交換会
開 催 場 所	下小口学習等共同利用施設
日 時	平成 2 8 年 1 1 月 1 2 日 (土) 1 8 : 0 0 ~ 1 9 : 2 5
<p>【主な意見、提言、対応等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立候補するしないは、地域で考えること。区が 10 あるから 10 人、15 区なら 15 人必要といったことは、次元が違う。 ・適正な報酬は難しい。年代別に 50 代、60～64 歳、65 歳以上の 3 段階に分けたらどうか？ ・政務活動費、月額 5000 円では何もできないのでは？ <p>②その他（文書にて）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議員定数 全町で 11 名 ・柿の橋の拡幅 ・北小学校東側、国道 41 号下トンネル付近 ・役場前道路東へカーブの付近 	

議会報告会実施報告書

会 議 名	議会との意見交換会
開 催 場 所	豊田学習等共同利用施設、下小口学習等共同利用施設
日 時	平成28年11月12日(土) 14:00～15:08 豊田学習等共同利用施設 18:00～19:25 下小口学習等共同利用施設
参加人数	16人(男15人・女1人)
【添付書類】	
1 記録担当報告書	
・豊田学習等共同利用施設 …記録担当 吉田 正	
・下小口学習等共同利用施設…記録担当 岡 孝夫	
2 意見・提言(協議依頼)	
・依頼先委員会…総務建設常任委員会 委員長 伊藤 浩	
・依頼元委員会…議会運営委員会 委員長 齊木 一三	
3 意見・提言(協議・対応結果報告)	
・報告先委員会…議会運営委員会 委員長 齊木 一三	
・報告元委員会…総務建設常任委員会 委員長 伊藤 浩	

平成28年12月27日

大口町議会 議長 丹羽 勉 様

上記のとおり提出します。

議会運営委員会 委員長 齊木 一三

報 告 書

会 議 名	議会との意見交換会
開 催 場 所	豊田学習等共同利用施設
日 時	平成28年11月12日(土) 14:00~15:08
参加人数	10人(男9人・女1人)
出席議員	吉田 正 酒井正宗 大竹伸一 斉木一三 丹羽 孝 丹羽 勉 木野春徳

【主な意見、提言、対応等】

①定数、報酬等

- ・報酬は下がって現在の金額なのか？前から292,000円できているのか？
- ・定数は11人が妥当と思う。政務調査費はカットすべき。
- ・議員はボランティアでやるべき。3割カットが妥当。
- ・政務活動費は以前に遡り、調査せよ。
- ・議員の報酬は長の30%だが、その根拠は？
- ・交通費、政務活動費、年収はいくらになるのか？
- ・年収は500万円前後とのことだが、年間活動日数は何日位か？
- ・91日働いて450万円は高いのではないか？
- ・引き下げるべきということではなく、収入に見合った以上の仕事をして欲しい。

②その他

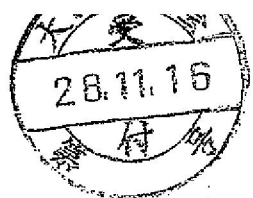
- ・丹羽消防署の卓球問題は真相を解明すべき。町の広報に取り上げていないが。
- ・救急車は、もう少し整備して欲しい。
- ・町長が代わると、部や課の名前が変わる。電話をすると交換手が担当課に繋ぐのが遅い。

平成28年11月16日

大口町議会 議長 丹羽 勉 様

上記のとおり提出します。

記録担当 吉田 正



平成 28 年 11 月 16 日

大口町議会議長
丹羽 勉 様

吉田 正

議会報告会の結果について（報告）

このことについて下記の通り報告します。

記

日 時 平成 28 年 11 月 12 日午後 2 時から 3 時まで
場 所 豊田学習等供用施設

1. 議員の役割分担は、下の表の通りでした。

役 割	氏 名
司 会	齋木一三
座 長	丹羽 孝
議員定数説明	酒井正宗
議員報酬説明	大竹伸一
会 場	木野春徳
記 録	吉田 正 齋木一三



2. 当日の時間配分は以下の通りでした。

- ① 開会の挨拶は 2 分
- ② 議長の挨拶 3 分
- ③ 議員定数の説明は 4 分
- ④ 議員報酬の説明は 4 分
- ⑤ 座長が意見交換で 30 分
- ⑥ その他の質問意見が 10 分

3. 住民参加者 10 人 内、女性 1 人

4. 住民から寄せられた意見は別紙の通り

以上

定数と報酬についての意見

発言者	発言内容
豊田区 男性	報酬は下がってきて現在の金額なのか。292000 円がずっときているのか。
豊田区 男性	定数は 11 人が妥当だと思う。報酬もそうだが政務活動費はカットすべき。 議員がグリーン車に乗るのはいかがなものか。 292000 円は高いかどうか。議員はボランティアでやるべきで、高い。3割カットが妥当だ。 政務活動費は、会派が個人に、後払いになっているのは知っている。ずいぶん前の支出が問題だ。調査せよ。
余野 女性	議員の報酬は長の 30%だが、その根拠は。 (部長の最高給の 2 倍という説明ができませんでした。)
豊田区 男性	交通費、政務活動費、年収はいくらになるのか。
豊田区 男性	年収は 500 万円前後とのことだが、年間活動日数はどのくらいか。
豊田区 男性	91 日働いて 450 万円は高いのではないか。そこそよいお金がもらえているのではないか。
豊田区 男性	引き下げるべきということではなく、その収入に見合った以上の仕事をしてがんばってほしい。

その他の意見

発言者	発言内容
豊田区 男性	丹羽消防の卓球問題については、マスコミの圧力をかけたといううわさがある。真相を解明せよ。 この問題は、町の広報に取り上げていない。都合の悪いことも取り上げるべきだ。
豊田区 男性	何年も前に救急車の世話になった。救急車のタイヤが磨耗していて危険だったことがある。救急車の乗り心地も悪かった。もう少しよい車にしてほしい。 いろいろ質問されて、救急車がちっとも出発しなかった。
豊田区 男性	町長が代わるのと、部や課の名前が変わる。電話をすると、交換手がちっとも担当につないでくれない。もっと勉強するべきだ。

平成 28 年度 議会報告会（豊田学供）
定数と報酬についての意見と答弁の議事録

発 言 者	発 言 内 容
豊田区	報酬は下がってきて現在の金額なのか。292000 円がずっときているのか。
答弁（吉田）	議会の概要の 7 ページを見ていただき、昭和 62 年から平成 8 年まで、2 年おきに報酬の引き上げがありました。平成 27 年 5 月から町長の給与改定に合わせて、引き下げました。
豊田区	定数は 11 人が妥当だと思う。報酬もそうだが政務活動費はカットすべき。 議員がグリーン車に乗るのはいかがなものか。 292000 円は高いかどうか。議員はボランティアでやるべきで、高い。3 割カットが妥当だ。 政務活動費は、会派が個人に、後払いになっているのは知っている。ずいぶん前の支出が問題だ。調査せよ。
答弁（丹羽）	定数や報酬などについての意見は承ります。 グリーン車の利用はしていない。 政務活動費については、また後日回答します。
余野	議員の報酬は長の 30%だが、その根拠は。 (部長の最高給の 2 倍という説明ができませんでした。)
答弁（吉田）	そもそも、町長の給料に根拠がないので、説明できません。
豊田区	交通費、政務活動費、年収はいくらになるのか。
答弁（丹羽）	大体、500 万円程度になると思います。
豊田区	年収は 500 万円前後とのことだが、年間活動日数はどのくらいか。
答弁（丹羽）	議会の概要の 8 ページと 9 ページを参照してください。本会議が 91 日、常任委員会があります。常任委員会は、議員が重複しているものもあります。その他には、町や地元の行事などがあります。
豊田区	91 日働いて 450 万円は高いのではないか。そこそよいお金がもらえているのではないか。
答弁（丹羽）	本会議以外に、委員会などがあります。
豊田区	引き下げるべきということだけでなく、その収入に見合った以上の仕事をしてがんばってほしい。

その他の意見と答弁の議事録

発 言 者	発 言 内 容
豊田区 男性	<p>丹羽消防の卓球問題については、マスコミの圧力をかけたといううわさがある。真相を解明せよ。</p> <p>この問題は、町の広報に取り上げていない。都合の悪いことも取り上げるべきだ。</p>
答 弁 (丹羽)	町に伝えます。
豊田区 男性	<p>何年も前に救急車の世話になった。救急隊員がいろいろ聞いてきて、ちっとも救急車を発車させない。救急車のタイヤが磨耗していて危険だったことがある。救急車の乗り心地も悪かった。もう少しよい車にしてほしい。</p> <p>いろいろ質問されて、救急車がちっとも出発しなかった。</p>
答 弁 (斎木)	救急隊員は、医療行為も行うので、いろいろ聞かれたのでは。
豊田区 男性	町長が変わると、部や課の名前が変わる。電話をすると、交換手がちっとも担当につないでくれない。もっと勉強するべきだ。
答 弁 (丹羽)	十分な回答が出来ないものもあったかと思いますが、町に伝えるべきものは伝えます。

報 告 書

No.1

会 議 名	議会との意見交換会
開 催 場 所	下小口学習等共同利用施設
日 時	平成28年11月12日(土) 18:00~19:25
参 加 人 数	16人(男15人・女1人)
出 席 議 員	船戸光夫 岡孝夫 鈴木義彦 伊藤浩 柘植満 宮田和美 丹羽勉 倉知敏美

【主な意見、提言、対応等】

①定数、報酬等

- ・今日のテーマは、議会との意見交換会にふさわしいものか？
- ・議長が議運にこのような諮問をするのはいかがなものか？諮問書はあるのか？
- ・議長が議員（仲間内）に諮問して、議員が議長に答申書を出すことは良いのか？
- ・第三者、識者に議会の思いを伝え、審議の上、答申書を出してもらうやり方でないとおかしい。
- ・不特定多数の住民意見を参考にして、議会で決めるのは無責任である。
- ・近隣で最少は10人。40万円出しても良い。議員は年配ばかり、若い人がチャレンジできる報酬を。議会をスリムな体制とし、若い人も入って議員の報酬は上げ、一方で総報酬は下げるのはどうか。
- ・議員の仕事は地元のことでなく、町全体のことを考えるべき。
- ・議員は非常勤であり、給料を上げることは理解を得られないし、委員会を兼任すれば人は減らせるのでは？仕事量は増えるが、対応可能であれば、減らす。
- ・「報酬を上げて若い人を」。耳ざわりは良いが、現役時代に活躍され、知識・経験・豊富な方が議員でも良いと思うし、報酬の妥当性は分からないので議会と識者で英断されたらどうか？
- ・報酬を上げれば立候補者は増えるのか？魅力ある議員とはなんなのか？近隣比較ではなく、大口町独自で決めれば良い。
- ・定数を30人で報酬を半分にして、日当制で土日の夜に議会を開き、ボランティアとして改革する、又は10人以下としてももう少し高給とする。判断は外部の諮問機関を作ってやるべき。

平成28年11月18日

大口町議会 議長 丹羽 勉 様

上記のとおり提出します。

記録担当 岡 孝 夫

報 告 書

No.2

会 議 名	議会との意見交換会
開 催 場 所	下小口学習等共同利用施設
日 時	平成28年11月12日(土) 18:00~19:25
<p>【主な意見、提言、対応等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立候補するしないは、地域で考えること。区が10あるから10人、15区なら15人必要といったことは、次元が違う。 ・適正な報酬は難しい。年代別に50代、60~64歳、65歳以上の3段階に分けたらどうか？ ・政務活動費、月額5000円では何もできないのでは？ <p>②その他(文書にて)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議員定数 全町で11名 ・柿の橋の拡幅 ・北小学校東側、国道41号下トンネル付近 ・役場前道路東へ伊藤家の付近 	